

【名田地区】

地域農業の将来（地域計画の策定）に
関するアンケート調査の結果について

調査概要

【名田地区】

調査の目的

農業者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加が深刻化しており、今後の農業の展望を描くのが困難となりつつあります。

このような中で、農業者や所有者が地域の現状と将来の地域課題を共有することや、今後の農地利用を担う経営体への農地集約化に関する将来方針決定のための意向把握することを目的に実施いたしました。

調査期間

令和5年4月10日～令和5年4月28日

調査方法

郵送及びJ A紀州にて配布・回収

調査対象者

御坊市で営農を行う耕作者

御坊市に農地を所有する土地所有者

回収状況

対象者数 249名

回答者数 154名

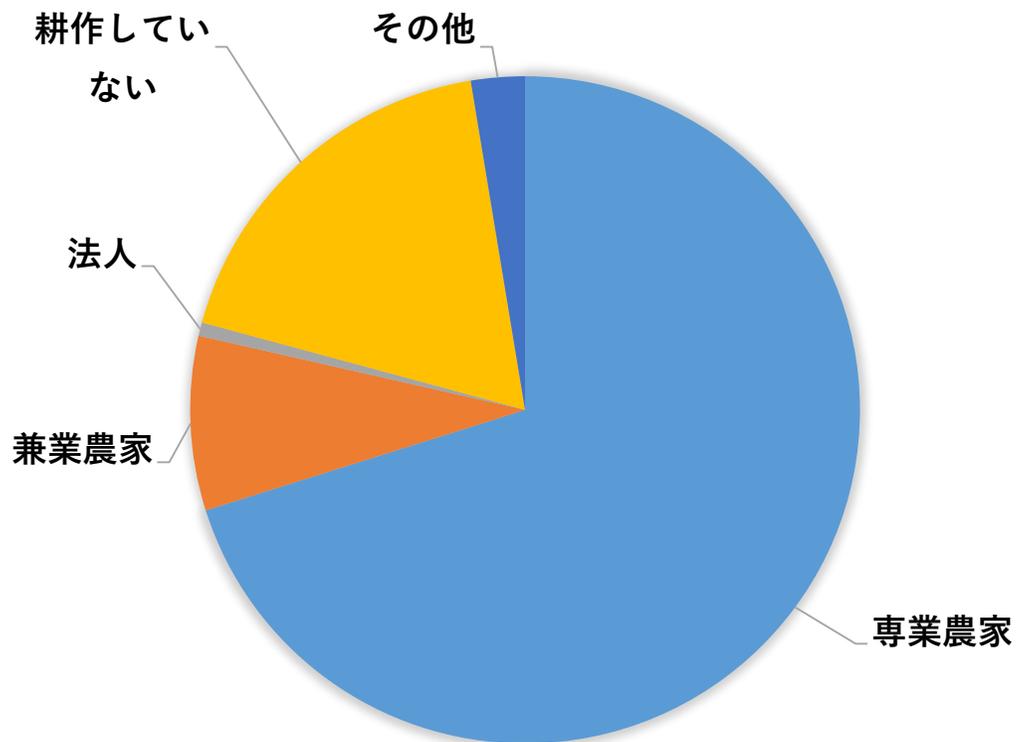
回答率 61.85%

◎注意事項

① 割合は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100パーセントにならないことがあります。

経営の種類

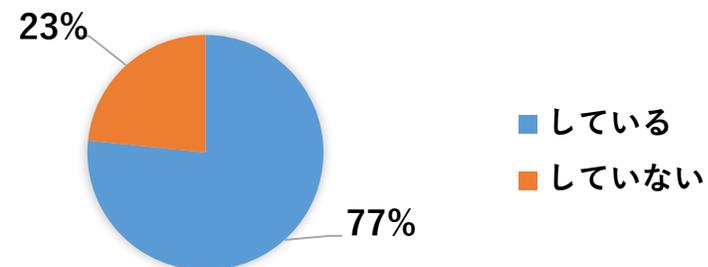
【名田地区】



項目	回答数	割合
専業農家	108	70.13%
兼業農家	13	8.44%
法人	1	0.65%
耕作していない	28	18.18%
その他	4	2.60%
合計	154	

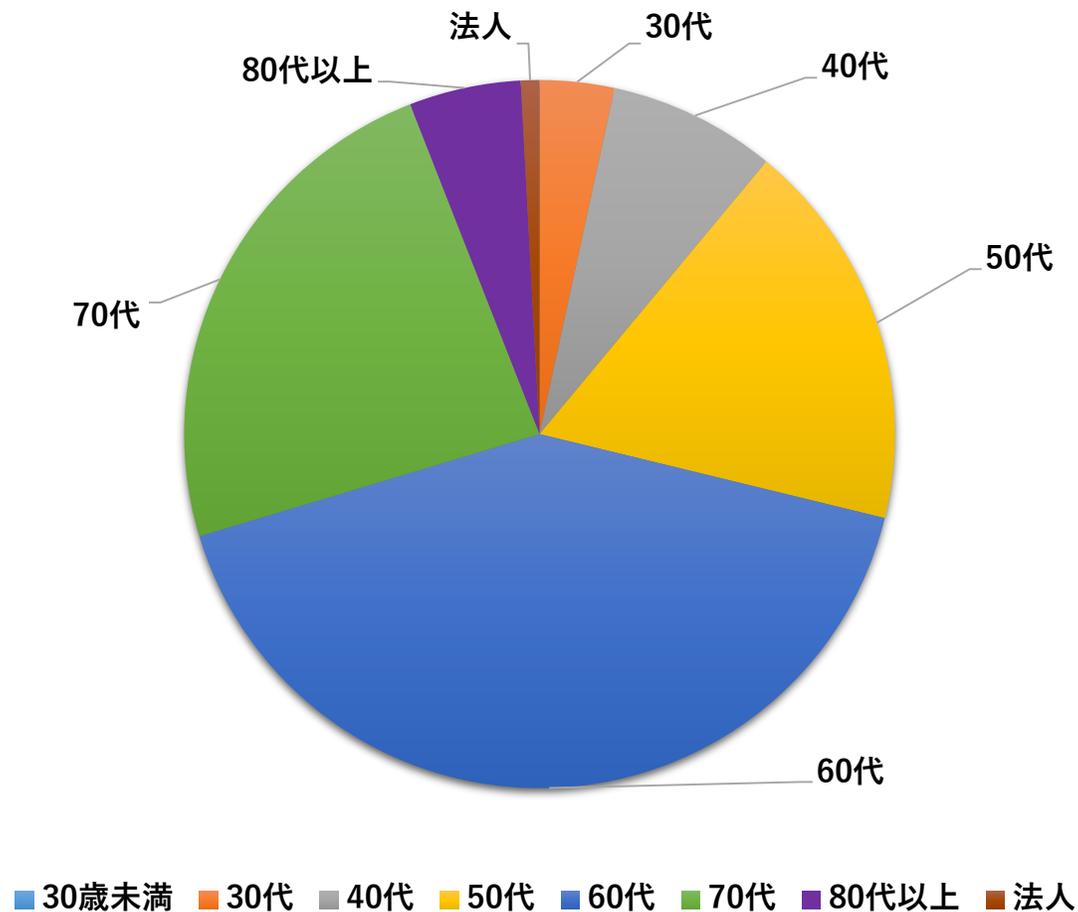
回答者の約77%が農業経営を行っており、専業農家が約70%を占める。

回答者の農業経営の割合



営農している方の年齢割合

【名田地区】



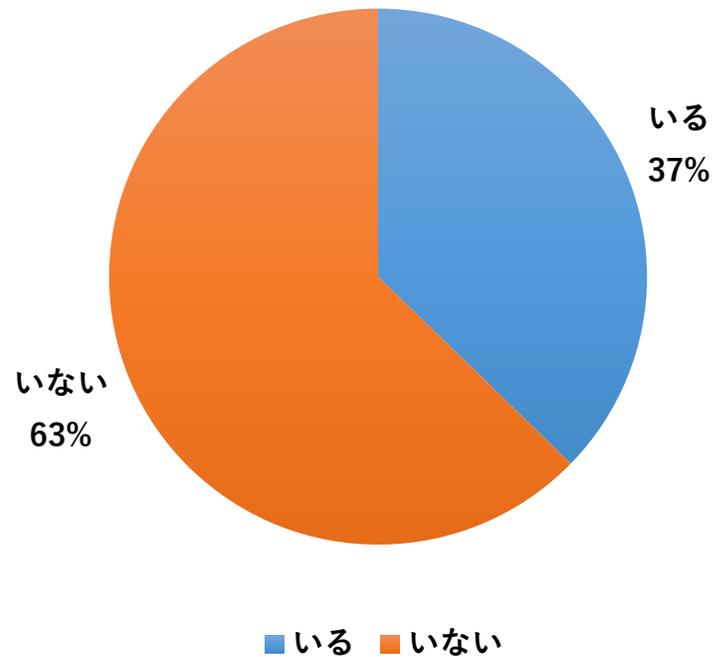
項目	回答数	割合
30代未満	0	0.00%
30代	4	3.39%
40代	9	7.63%
50代	21	17.80%
60代	49	41.53%
70代	28	23.73%
80代以上	6	5.08%
法人	1	0.85%
合計	118	

主に本人が耕作している場合の年齢層は、60歳代が全体の約42%を占める。後継者に継承しない場合、10年後には60歳代以上に移行していくこととなる。

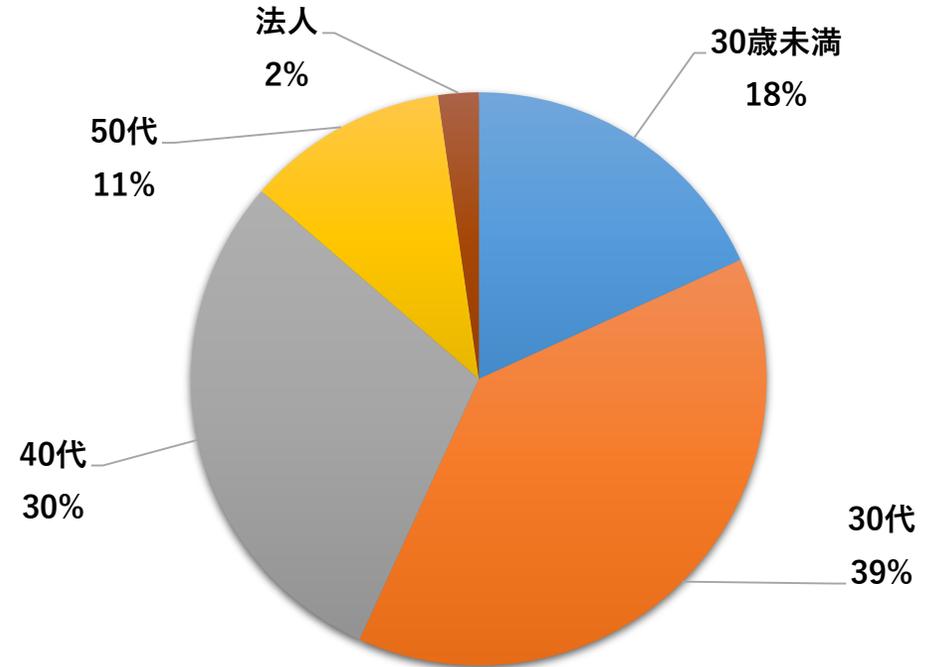
後継者について

【名田地区】

農業後継者がいるものの割合



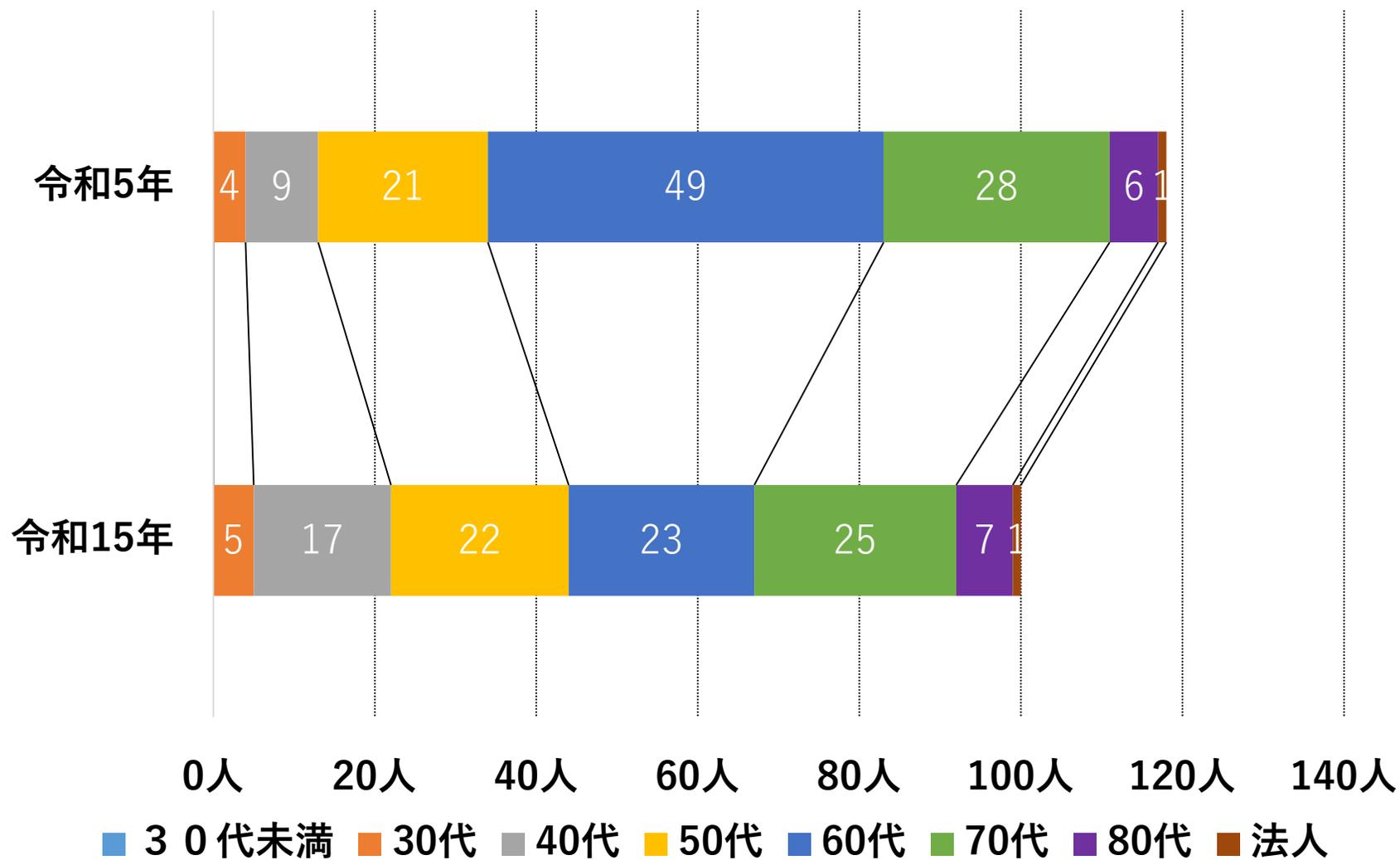
後継者の年齢



農業後継者がいるものの割合は約37%にすぎず、今後担い手不足は加速すると思われる。

現在と10年後の耕作者の状況

【名田地区】



現在耕作者の年齢分布は60歳代中心で10年後に離農者が増えることにより農業経営人数は減少する。

地域農業の在り方に関するご意見（抜粋）

【名田地区】

- 第三者に貸す。機械などを貸し合いして助け合いしたい。
- ほ場の集約による効率化をするべき。近隣はハウス栽培が中心なのでハウスの施設の借り替えまで行って集約できればよいと思う。
- 現状維持・面積より人手不足。
- 農地集積と作業、経営の合理化。
- 当地区でも年々保全管理地が多くなってきています。
- 後継者不足。等